

クロマツの林は何のためにあるの？

■クロマツ林の姿

◆写真解説のポイント

- 写真-A：風の影響を受けている樹木（片枝、曲がり、先端部の枯死など）がある
- 写真-B：樹林密度がまだ高く、今後管理が必要である
- 写真-C：適度な密度で管理されている

■クロマツ林の特性

日本の代表的樹種として広く植栽されていて、潮風や塩害に強く、痩せ地や湿地にも耐えます。

■クロマツ林の役割

◆効果の解説

●多様な役割の確保

海岸林は、風を弱める、飛砂を防ぐ、塩分を葉で捉える、津波や高波を弱めるなど、多くの役割を担っています。これらの機能を担うためには、健全な生育を維持するための育成管理とともに、マツクイムシやマツノザイセンチュウなどの病虫害に適切に対応する必要があります。

●動植物の生息・生育環境

クロマツ林は、適度な管理のもとに維持されているため、多くの野鳥や昆虫などが生息する貴重な海辺の自然環境となっており、県の自然環境保全区域に指定されています。

●海岸林のある場所とない場所の比較の解説（効果）

海岸林が整備されていない場所との比較を行うことで、その効果を十分実感させる事が重要です。

●守られている生活、産業について（水田、イチゴのハウス栽培など）

クロマツ林が守っている水田や畑、イチゴのハウス栽培など、地域の方々からその役割の大事さを聞くことも貴重な学習と考えられます。

■いつ頃から誰が守ってきたか

江戸時代の農地拡大に伴って、植林事業が進められ、農家を始めとした地域全体の財産として管理が行われてきました。現在では、保安林（防風、防潮、防砂など）として、地域全体の防災施設として位置づけられ、公的な資金も活用した管理（障害管理、更新作業など）が行われています。しかし、資金の不足、管理人材の減少などによって適切な管理内容・頻度が確保されなくなり、継続的な管理に問題が生じています。こうした事態に対応するため、森林ボランティアなどによる取り組みが全国で始まっています。

■効果を調べる

◆風速を測る

風速を測る方法は、機材が借用できる場合もありますが、子どもたちで強さの違いを測る装置を考えることも貴重な学習です。吹き流しや風船など、工夫してみてください。

◆注意事項

- とげのある植物、かぶれる可能性のある植物に気をつけます。
- 樹木を傷つけない、むやみに草木を踏みつけないよう注意します。

テーマ 8 クロマツ林の役割

■地域のクロマツの林を調べる

◆仙台湾南部海岸のクロマツ林

仙台湾南部海岸のクロマツ林の分布と規模や特徴

クロマツ林



市町村	山元町	亘理町	岩沼市
クロマツ林の面積 ¹⁾	229ha	131ha	278ha
東京ドームに換算すると	約49個分	約28個分	約59個分
クロマツ林の幅	幅100m～200m程度のクロマツ林が形成されています。	幅200m～300m程度のクロマツ林が形成されています。	幅200m程度ですが場所により400m程度で形成されています。
クロマツ林の特徴	クロマツ林の中に比較的大きな湿地や河口部が点在しています。		湿地や河口部はありませんが、背後に貞山堀があります。
クロマツ林が作られ始めた時代	砂の移動や潮風から農地や人家を守るために藩政の時代(1600年代)から長い年月をかけて大事に育てられてきました。		
クロマツについて	北半球で約100種ほど確認されているマツ属の一種です。朝鮮半島南部および沖縄、九州から本州にかけての海岸沿いに多く、高さ40m、直径2mに達するものもあります。乾燥や潮風に強いので、防風林、砂防林に適しています。		

1) : 海岸に隣接する保安林分布より

■海の豆知識－海岸林にすむ動植物

海岸林は、自然の状態であれば常緑の広葉樹林が生育する場所が多くなりますが、岩礁地や土壌の薄い場所ではクロマツなど痩せ地でも生育できる植物が生育します。仙台湾南部海岸でも、ある程度自然に放置した場合には、クロマツの中にアカメガシワ、カラスザンショウなど痩せ地に生育する植物が入り、さらに常緑のトベラ、マサキなどの低木が増え、いずれはタブノキやヤブニッケイなどの高木に育つ種類が増えてくると考えられます。

一方、動物は、猛禽類など松林を生息・営巣場所とする野鳥類や海辺の野鳥が生息場所の一つとして活用しており、人工的な環境が増加している海辺において貴重な自然環境を提供しています。